児童・生徒の現状・課題

学習計画や目標を自分で立てて取り組むことが苦手である。学習意欲もあり授業にも取り組むが、家庭学習や自主学習が定着せず、学習したことが深まらないため基礎学力が向上しない。

学び続ける力を育むための重点目標

〇基礎学力の定着を図るとともに、学んだ知識を活用して課題解決や目標達成のための方法を自分で考えられるようにする。

児童生徒調査

肯定的回答の割合(%)	昨年度	目標(7月)	結果(1月)
①自分から進んで計画を立てて学習している。	77.2	82.0	
②学習した内容や方法、自分の力をどれだけ伸ばすことができたかなどを振り返ることができる。	81.2	86.0	

教員調査

肯定的回答の割合(%)	昨年度	目標(7月)	結果(1月)
①授業や家庭学習において手立てを講じたり、指導したりしている。	87.5	92.0	
②授業では、学習課題や学習過程等、児童が学び方を選択する場面を設定している。	76. 5	82.0	

具体的な手だて①

授業や単元のめあて、学習内容やゴールを明確に伝え、全体で共有する。

具体的な手だて②

自分自身での振り返りや仲間との意見交換を通して、授業や単元の目標の達成度を把握し、学習方法の改善や修正を行えるようにする。

具体的な手だて③

興味関心を持てる選択肢を用意し、選んだものに対して自分の考えをまとめ、伝える機会をすべての教科において増やす。

校内で共有し、授業改革を日常化するための工夫

・Classroom やドライブを活用して、新たな取り組みにそれぞれがチャレンジできるように、授業改善の視点や取り組みを共有する。

総括(7月)

意欲的に授業に取り組んでいる生徒も多く、授業内容を理解しているように見受けられるが、小テストや定期考査では平均点が低い傾向がある。その場では理解できているが、その場だけで終わってしまい、家庭学習や繰り返し学習による学びを深める取り組みが定着しないことが原因と考えられる。自身の学習への取り組みやテスト等の結果を振り返る時間を持ち、目標達成のための方法や改善策を明確にさせることが必要である。

総括(1月)